

令和 2 年度 県立大子清流高等学校学校関係者評価表

評価項目	評価	評価者からの意見等
1. 本年度重点目標の達成状況についての自己評価は妥当か	☐ A 妥当である ☒ B おおむね妥当である ☐ C あまり妥当でない ☐ D 妥当でない	・「確かな学力を育む、学習指導の推進」の達成については難しいと思うが、だからこそ重点目標であると感じる。ぜひ「A」評価を目指して取組を継続してほしい。 ・学校経営方針に沿って教職員が熱心に取り組んでいることが分かった。
2. 学校の具体的目標及び具体的方策の達成状況についての自己評価は妥当か	☒ A 妥当である ☐ B おおむね妥当である ☐ C あまり妥当でない ☐ D 妥当でない	・「教務」の区分である「家庭学習の習慣化を図るために Classi やオンライン教材の活用を推進する」のところが「C」評価であったが、学力向上のためには必要であるため、先生方の今後に期待する。 ・教職員が生徒一人ひとりを大切に指導している成果が出ている。
3. 学校は次年度への主な課題を把握しているか	☐ A 十分把握している ☒ B おおむね把握している ☐ C あまり把握していない ☐ D 把握していない	・第 2 学年・第 3 学年の生徒に比べると、第 1 学年の生徒は、入学した年でもあり、学習面の評価を高めていくことに難しさはあるが、進路に対する意識付けをし、自ら学ぶ姿勢を育ててほしい。 ・
4. 学校の改善方策への対応は適切か	☐ A 適切である ☒ B おおむね適切である ☐ C あまり適切でない ☐ D 適切でない	・課題をしっかりと把握し、次年度に向けた対策を行う姿勢がうかがえる。 ・学校存続のため、多方面から意見を募り対策をしてほしい。 ・町や小・中学校との連携をもっと進めてほしい。
5. その他 多様性あふれる生徒に応じた指導は適切か	☐ A 適切である ☒ B おおむね適切である ☐ C あまり適切でない ☐ D 適切でない	・保護者による学校評価の中に「挨拶ができない生徒が増えた」と書かれていたことが気になった。社会人になれば常識となるので、生徒一人ひとりの個性を認めながらしっかりとした指導をお願いする。

※ 「学校関係者評価」は、学校の自己評価結果をふまえて行うこととします。学校関係者評価における評価者とは、各学校の生徒の保護者や、各学校の教職員を除いた学校と直接の関係のある者及び大学教員等の学校と直接の関係を有しない有識者とし、学校評議員も評価者に含まれます。